



## ガイドの会「有馬の郷」設立

8月5日、市内の観光ガイド5団体が一つにまとまった南島原ガイドの会「有馬の郷」設立総会が開催されました。

これまで市内には、加津佐さんとの会、口之津観光ガイドの会、原城跡観光ガイドの会、有馬つんなも会、ありえ案内人えびすの会の5団体があり、それぞれ地元のガイドを行ってきました。間近に迫ってきた長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録。南島原ガイドの会有馬の郷は、世界遺産登録に向け、観光客の受け入れ態勢を整備する目的で設立されました。今後は、ガイド間の連携を強化し、これまで以上におもてなしを行っていくため、日野江城跡、原城跡の案内をはじめ、市内のスルーガイドの実現、そしてガイド資質を高めるための研修を行っていきます。



## 親子で勝ち取った銀メダル

7月25日から27日にわたり、東京で開催された「第31回全国少年少女レスリング選手権大会」で、小川大和くん(見岳小学校)が、小学生の部2年生21kg級で、全国2位の栄冠に輝きました。大和くんの父、光洋さん(左から2番目)は「子どもが生まれたらレスリングをさせたいと思っていた。大和が誕生したので、レスリングの基礎となるマット運動から始めさせました。マットといっても布団でしたが。すると2歳ころには前転、3歳ころには側転ができるようになりました」と話します。大和くんが本格的にレスリングを始めたのは5歳ころ。道場で行う練習は週に2回。その他の練習は、光洋さんと家で、まさに二人三脚で行っています。今後の目標について大和くんは「オリンピックに出場して金メダルをとることです」と力強く話してくれました。

南島原から金メダル受賞者が誕生することを今から楽しみにしています。



## 南島原の火 誕生

7月27日、「マリンフェスタinくちのつ」の会場で、南島原市採火・炬火式を開催しました。

公募していた「南島原市の炬火名」には多数の応募があり、見事最優秀賞に輝いたのは、北有馬町の佐原太字さんの作品「明日へ 未来へ みなみしまばらの火」です。

イベント当日は、市内小学生の親子が参加し、昔ながらの火ダネを作る道具「マイギリ」を使用して火を起しました。そして、これらの火が佐原さんの持つトーチへ渡り、南島原の火が誕生しました。

この火は、9月6日に長崎市で開催される炬火集火式で県内21市町の火が一つとなり、国体総合開会式で炬火台に点火されます。南島原の火が、選手たちの熱い戦いに華を添えます。



## 教育長の就任

永田 良二氏(西有家町)  
任期：平成26年8月11日～  
平成30年8月10日



## 市議会議員 繰り上げ当選

高木 和恵氏(西有家町)  
任期：平成26年6月30日～  
平成30年5月13日

つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク



島原半島世界ジオパーク  
キャラクター「ジーオくん」

# ジオパークであり 続けるための取り組み



島原半島世界ジオパーク  
キャラクター「ジーナちゃん」

〒 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540



## ジオサイト⑥ 米作りとジオパークの関係



実りの秋を目前に、今月は米作りとジオパークの関係についてお話しします。おいしいお米を作るには、土や地形、きれいな水、暖かい気候などが条件となります。田んぼの土は岩石の風化や微生物の影響など、自然の営みの結果として長い年月をかけてできたものです。人間はその年の気候条件に応じて米作りを行ってきました。機械が導入され作業の効率化が図られてきましたが、現在でも地域住民が協力して用水路の清掃や草刈りが行われています。

「米」を作るには、文字通り八十八回以上の手間が必要ですが、お米を収穫するために地域で協力して守ってきた歴史や伝統がまさにジオパークなのです。

### 「田んぼの多面的な役割」

雷が多い年は豊作だと言われています。雷は漢字で「田」の上に「雨」と書きます。水が少ない夏場に雷は田んぼに恵みの雨をもたらす使者となります。また雷の電光を稲妻と表現することからも、自然現象とも田んぼは昔からかわりあったことが分かります。また、田んぼは「あぜ」で囲まれていて、その中で水を張るため「自然のダム」の役割をしています。特に階段状に造られた棚田では大雨が降った時に一時的に田んぼの中に水を蓄えるため、川の増水を抑える役目をしています。その他にも、田んぼに張られた水は、土にしみ込んで地下水となり、きれいな水となります。もし土が有害なもので汚染されてしまえば、その土を浸透して作られる水も汚染されてしまい、結果、その水を飲む私たちの体にも影響があります。米作りは、私たちの身の回りの環境にも大きな影響を与えていることが分かります。



南有馬町 谷水棚田



雲仙市千々石町 岳棚田

### 「棚田」

雲仙市の岳地区や南島原市の谷水地区の棚田は農林水産省によって「日本の棚田百選」に選ばれました。地形的に平地が少ないため、狭い耕地を有効的に利用するために石垣を築き水田耕作などが行われています。

特に岳地区で、この石積みに使われている石材は雲仙火山によって噴出した溶岩を使用しており、火山の恵みを活用した人間の知恵といえます。

国立公園「雲仙」指定80周年＆島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業

イルカさんが語る「We Love You Planet! ～ひびけ!惑星に。」



📅9月13日📅 午後1時～3時

📍雲仙メモリアルホール(雲仙温泉街:原生沼そば)

●講師／イルカ ※講話のみで、歌はありません。

📄申込不要で、誰でも自由に参加できます。

📄無料

●同時開催／雲仙小学校とDr. 大野コラボによる「こども観光ガイド&ジオパーク講座」、ジオパネル展、ジオカルタ展、地元ゆるキャラと記念撮影

📍長崎県自然環境課 ☎095(895)2381



### プロフィール

- シンガーソングライター
- 絵本作家
- 女子美術大学客員教授
- IUCN(国際自然保護連合)親善大使
- 環境省中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会委員
- 国連生物多様性の10年日本委員会委員
- 環境省地球いきもの応援団メンバー・生物多様性リーダー